

オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第70号

2014年2月28日

<http://www.australianstudies.jp/>

1. 「オーストラリア学会 2014 年度総会・全国研究大会概要」

オーストラリア学会は 2014 年 12 月に創設 25 周年を迎えることを記念して、従来の全国大会（研究発表）の場を、「オーストラリア学会創設 25 周年記念国際学会」として開催します。オーストラリアほか数か国から著名なオーストラリア研究者を数名招聘し、同時に世界各地から研究者の参加を募りました。

2 日間にわたるシンポジウムでは、国際的かつ学際的な意見交換を行い、現在急速に進行するグローバル化時代にオーストラリア研究が果たす役割を考察します。すべてのセッションは英語で行われ、今後、本国際学会が世界におけるオーストラリア研究を主導する契機となることを期待します。詳細は会報次号と学会サイトにてお知らせいたします。

Transformation of Australian Studies in a Globalising Age

日 時：2014 年 7 月 26 日（土）～27 日（日） ※通例の開催月と異なります。

会 場：上智大学（四谷キャンパス）〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

※連絡先 鈴木雄雅 HAF00025@nifty.ne.jp /03-3238-3983（研究室）

総 会：7 月 27 日（日）13:00 からを予定

*当国際学会は、「AJF」、「上智大学」から助成を受けております。また「りそなアジア・オセアニア財団」からの助成も機関決定待ちとなっております。

*現在、25 周年記念事業実行委員会を中心に大会プログラムを策定中です。国内はじめオーストラリア、中国、インド、スペイン、英国などから 50 件以上の応募がありました。

2. オーストラリア学会第 9 期第 2 回理事会報告

日 時：2013 年 12 月 1 日（日） 16:00-17:30

場 所：慶應義塾大学三田キャンパス 研究室棟地下 1 階第 1 会議室

出席者：青木麻衣子、福嶋輝彦、花井清人、飯笹佐代子、石井由香、川口章、栗山直子、馬淵仁、村上雄一、永野隆行、佐和田敬司、塩原良和、安田純子、吉田道代（以上、理事、ABC 順）、白江英司、多田稔（以上、監事）

【報告事項】

1. 川口総務担当理事から、2013 年 6 月以降の活動報告と 2014 年の活動計画について報告があった。
2. 永野企画担当理事から、2012-13 年度 AJF 助成金企画に関して、最終報告書・会計報告を AJF に提出したことについて報告があった。
3. 永野企画担当理事から、2015 年度大会企画案と開催校の募集について報告があった。
4. 飯笹編集担当理事から、『オーストラリア研究』第 27 号編集の進捗状況について報告があった。
5. 塩原会計担当理事から、2013 年 11 月時点における財務状況について報告があった。
6. 福嶋代表理事から、25 周年記念事業計画策定の進捗状況について報告があった。なお、Sophia Symposium と 3 本の Plenary Speech は、市民公開とすることが確認された。

【議題】

1. 第1回理事会議事録(案)が承認された。
2. 優秀論文賞規程(案)について審議し、一部修正の上、修正案をメール審議することが承認された。
3. 優秀論文賞選考委員会細則(案)が承認された。
4. 2014年度より、『オーストラリア研究』の査読者を1論文につき2名とすることが承認された。
5. 2014年12月の理事会の日程について、事前に全理事の希望を調査したうえで決定することが承認された。
6. 4名の新規入会が承認された。退会希望者5名のうち、3名の退会が承認された。また、退会届の書式が整っていない2名については、再度退会の意思を確認したうえで、退会を認めることが承認された。

3. オーストラリア学会優秀論文賞

代表理事 福嶋輝彦

第9期理事会では、学会設立25周年を契機に、会員による将来性に富む優れた研究論文を顕彰するため、「オーストラリア学会優秀論文賞(案)」の設立を協議しています。正式には今年7月に上智大学で開催される第25回全国研究大会での総会にお諮りする予定ですが、現在の計画では、2013年度と2014年度の2年度の間に学会誌『オーストラリア研究』に掲載された、会員による英語、日本語の投稿論文(研究ノートは除く)を、初回の選考対象とし、受賞論文には賞状を授与し、記念品を贈呈し、その栄誉を讃えます。したがって、現在編集作業中の第27号とその次の第28号に掲載される投稿論文が対象になりますので、会員のみなさまには奮って『オーストラリア研究』第28号に向けて研究論文を投稿をお願いいたします。もちろん、第25回全国研究大会での発表に基づく論文の投稿も歓迎します。また、初回の後も2年ごとに実施する予定ですので、日本のオーストラリア研究の更なるレベルアップに向けて、この優秀論文賞がみなさまの目標の1つに定着していくことを願ってやみません。

4. 第18回地域研究会(関西例会)のお知らせ(共催:追手門学院大学オーストラリア研究所)

*非会員の方も参加できます(一部通訳有り)

テーマ:“The 2013 National Australian Election and the New Coalition Government”
(2013年オーストラリア総選挙と新連合内閣)

日時:2014年3月1日(土)14:00-17:00

場所:追手門学院大学5号館8階大会議室

連絡先:追手門学院大学オーストラリア研究所(大阪府茨木市西安威2-1-15)

Tel:072-641-9667 Fax:072-643-9476 Email:cas@office.otemon.ac.jp

ホームページ:http://www.otemon.ac.jp/cas/

交通:JR茨木駅西口から南へ徒歩7分「イオン茨木ショッピングセンター」横、または阪急茨木市駅西口から追手門学院スクールバス13:10発をご利用ください。

座長:有吉宏之(追手門学院大学)

発表:Ariadne Vromen(シドニー大学政治・国際関係学部准教授)

Anika Gauja(シドニー大学政治・国際関係学部上級講師)

発表内容:

2013年に行われたオーストラリア総選挙の結果を、選挙・議会・政策の3つの政治的見地から検討する。今回の選挙で自由党・国民党保守連合の勝利は、経済安定と政治主導力に焦点が置かれ、ラッド、ギラード両氏在任中の労働党の勢力の衰えを浮き彫りにし、オーストラリア政府に変化をもたらすものとなった。下院での圧倒的議席数獲得に対し、上院での結果は、議席数が足りない中で第二の上院議員選挙の可能性や新たな極小政党の議会への初参入などに繋がっている。与党や議会そのものだけでなく新しい政府も変化している。国の政策論争も根本から変化しており、今回のセミナーでは気候変動、教育、移民、国際関係に関わる政策の視点よりオーストラリアの今後、地域でのあり方について論じていく。

5. 第17回地域研究会（関西例会）報告

栗山直子

2013年11月16日(土)14:00-17:00、追手門学院大学において開催された。参加者は30名。

発表1は武井紀子氏(大阪大学大学院)「シドニー・ブリスベン在住日本人の言語状況について—言語シフト・維持の観点からの検証」、座長は馬淵仁氏(大阪女学院大学)。発表は、在住日本人の言語状況を言語シフト・維持の観点から言語使用の適切性を調べることを目的に在住日本人59名を対象に行った調査①「日本語と英語の言語使用領域に関する自記式の調査票調査」、および言語生活を知ることが目的に在住日本人559名を対象に行った調査②「言語生活に関するアンケート調査」から、それぞれの結果検証がなされた。参加者からは、まず配偶者の第一言語を区別した上でデータを比較すべきではないかなどの質問が出され、活発な議論がなされた。

発表2は平野智佳子氏(神戸大学大学院)「アボリジニの飲酒への対応の変容—オーストラリア北部準州の飲酒問題に関する新聞記事から」、座長は大野あきこ氏(甲南女子大学)。

北部準州のアボリジニの飲酒問題に関して、既往の研究文献による歴史的な考察を踏まえたうえで、2007年～2013年までの新聞記事(*The Australian*, *The Northern Territory News*, *The Centralian Advocate*の3紙)から事例分析し、飲酒規制強化派と緩和派それぞれの意見を整理・分析した。参加者からは、アルコール依存に陥ったアボリジニへの対応や被害者救済の社会運動などをめぐって、様々な側面から質問がなされ議論が深まった。

6. 第8回地域研究会（関東例会）報告

佐和田敬司

2014年1月25日の2時から5時まで、早稲田大学で開催された。秋元大輔氏は『人間の安全保障アジェンダ：オーストラリアと日本』と題する報告で、オーストラリアと日本両国による人間の安全保障、とくに、平和構築、核不拡散・核軍縮、災害救助の分野での取り組みについて紹介した。さらに今後、平和構築、核不拡散・核軍縮、災害救助を、二国間の「人間の安全保障」アジェンダとして正式に採用し、さらなる国際協力を継続することを提言した。塩原良和氏は『自由と放置のはざま：オーストラリアの庇護申請者政策における「コミュニティ・ベース」アプローチと新自由主義』と題する報告で、庇護申請者政策が原則全員収容政策から2000年代中盤に「人道的措置」としてコミュニティでのDetention政策の導入、さらに庇護申請者へのサービスが民営化された状況を説明した上で、このような政策は、庇護申請者をコミュニティへ「放置」することにほかならないと指摘した。コメンテーターの井上浩子氏は、「アメリカの友好国」であるオーストラリアが、「脅威に対抗するための人道主義」という考え方を強め、脅威を未然に防ぐために庇護申請者収容所と国際的な紛争地域をともに「安全化」という方向性を見せている点で、秋元・塩原両氏報告の事象は通底していると指摘した。その後、参加者十余名のあいだで活発な議論が行われた。

7. 会費納入のお願い

年会費の請求は年度の始まり4月に行いますが、年会費が納入されると、納入時期にかかわらず未払い年度がある場合そこへ充当されます。たとえば2013年5月に年会費を納入しても、2012年度未払いの場合、それは2012年度の会費となります。すなわち、2013年度は未納ということになります。また2011、2012年度未払いの場合、2011年度分の会費納入になります。

<2013年度分会費及び会費が未納の会員の皆様へ>

会費が未納の皆様へは、請求を別便にて送付します。未納年度分(2011年度を含め最多3か年)を速やかに振込票にて納入願います。未着のかたはアカデミーセンター「オーストラリア学会」担当あてにお知らせ願います。なお、会費振込票に会員名の記載がない場合、振込会員を特定できないため、必ず会員名をお書きください。また原則領収書は発行していません。郵便振替票の受領書などをご利用願います。

会費未納の会員の皆様に関しましては、当該年度の会費納入が確認され次第、学会誌『オーストラリア研究』(現在2013年3月発行、第26号)までをお送りしております。事務局では3か年分の在庫を保管しておりますので、順次発送しておりますが、お手元に届くまで若干時間がかかる場合もあります。会費納入にもかかわらず未着の学会誌がありましたら、恐縮ですが、学会事務局(アカデミーセンター)にご連絡ください。

8. 『オーストラリア研究』 投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

『オーストラリア研究』に掲載する論文を募集しています。投稿はいつでも受け付けておりますが、次号27号に掲載する論文の投稿はすでに締め切りましたので、次は28号での掲載になります。詳細は、学会ウェブサイト、もしくは25号掲載の「投稿要領」(2011年12月11日一部改訂)をご覧ください。

また第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に関係する目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。締め切りは2014年10月30日です(期日厳守)。編集作業の都合上、電子メール(またはテキストファイルを含んだCDもしくはUSB)をご利用ください。記入例はバックナンバーを参照し、掲載書式に必ず準ずる形でお送りください。

投稿先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター オーストラリア学会 担当
TEL：03-5937-0249 FAX：03-3368-2822 Email：asaj-post@bunken.co.jp

9. 新刊書のご案内

本柳とみ子 『オーストラリアの教員養成とグローバリズム—多様性と公平性の保証に向けて』 東信堂、2013年10月(A5版、330ページ、定価3,600円+税、ISBN:978-4-7989-1197-7)

*現代的多様性に対応しうる教員養成のあり方を具体的に紹介し、考察した数少ない研究。
出版社ウェブサイト：<http://www.toshindo-pub.com/newbook/>

ティム・ウィントン著/佐和田敬司訳 『プレス(呼吸)』 現代企画室、2013年12月(4-6上製、272ページ、定価2,400円+税、ISBN：978-4-7738-1317-3)

*サーフィンを通じて自然と他者、自らの限界とぶつかっていった少年たちの青春物語。
出版社ウェブサイト：<http://www.jca.apc.org/gendai/onebook.php/>

加藤めぐみ 『オーストラリア文学にみる日本人像』 東京大学出版会、2013年12月(A5版、268ページ、定価6,800円+税、ISBN978-4-13-086047-5)

*日本と日本人がいかにかに捉えられてきたかを、多数の文学作品をもとに描出する。
出版社ウェブサイト：<http://www.utp.or.jp/bd/>

青木麻衣子・佐藤博志編著 『オーストラリア・ニュージーランドの教育—グローバル社会を生き抜く力の教育に向けて』 東信堂、2014年1月(A5版、180ページ、定価2,000円+税、ISBN:9784798912035)

*2001年刊行書の新版。両国教育の全体像に迫る最新の包括的研究。
出版社ウェブサイト：<http://www.toshindo-pub.com/newbook/>

【諸届出/連絡先】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター オーストラリア学会 担当
TEL：03-5937-0249 FAX：03-3368-2822 Email：asaj-post@bunken.co.jp

【オーストラリア学会事務局】

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル 同志社大学政策学部 川口章研究室気付
TEL：075-251-3469 E-mail：akawaguc@mail.doshisha.ac.jp
会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

※本会報は学会記録のほか、会員からのご意見や著書・新刊情報などを掲載します。学会事務局までお送りください。なお紙面の制約上、掲載できない場合がありますことをご了承ください。

[編集担当：村上雄一(福島大学) / 編集協力：濱野健(北九州市立大学)]

投稿先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター オーストラリア学会担当
TEL：03-5937-0249, FAX：03-3368-2822 Email：asaj-post@bunken.co.jp

※2013年4月以降変更になりました。ご注意ください。